【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年9月10日(2024.9.10)

【公開番号】特開2023-37623(P2023-37623A)
【公開日】令和5年3月15日(2023.3.15)
【年通号数】公開公報(特許)2023-049
【出願番号】特願2022-150669(P2022-150669)
【国際特許分類】
Ｃ１０Ｂ 49/02(2006.01)
Ｃ１０Ｂ 53/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１０Ｂ 49/02
Ｃ１０Ｂ 53/02

【手続補正書】
【提出日】令和6年8月30日(2024.8.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
製炭ユニットを備える製炭炉であって、
前記製炭ユニットは、
製炭対象物が収容される、上面が開放された第１のカゴと、前記第１のカゴの下に配置され、焚き付け材の収容部である第２のカゴとを含む内部ユニットと、
上壁と側壁とを含み、前記内部ユニットの上面および側面を覆うように設置される筐体と、
を含み、
前記筐体の前記側壁における前記内部ユニットの前記第２のカゴに対応する位置に、
前記製炭ユニットの内部と外部とを連通する、開閉可能な第１の炉口と、
前記製炭ユニットの内部と外部とを連通する、開状態では前記通路に連通する開閉可能な第２の炉口と、
が備えられ、
前記筐体の前記上壁に、前記製炭ユニットの内部と外部とを連通する、開閉可能な開口部が備えられ、
前記第１のカゴと前記第２のカゴとの境界部は、少なくとも一部がメッシュで構成されている、
製炭炉。
【請求項２】
前記内部ユニットは、前記第１のカゴと前記第２のカゴとが一体として構成されている、
請求項１に記載の製炭炉。
【請求項３】
前記内部ユニットは、前記第１のカゴと前記第２のカゴとが互いに分離可能である、
請求項１に記載の製炭炉。
【請求項４】
前記内部ユニットは、積み重ねられた複数の前記第１のカゴを含む、請求項１から請求項３のいずれか１項に記載の製炭炉。

【請求項５】
請求項１から請求項４のいずれか１項に記載の製炭炉を用いる炭の製造方法であって、
前記第１のカゴに製炭対象物を、前記第２のカゴに焚き付け材を、それぞれ投入する工程と、
前記第１の炉口を通じて、前記第２のカゴに収容された前記焚き付け材に着火する工程と、
前記第１の炉口または前記筐体の前記上壁の前記開口部から吸気させるとともに、前記第２の炉口から排気させながら前記製炭対象物の炭化を進行させる工程と、
を含む、炭の製造方法。
【請求項６】
製炭ユニットを含む製炭炉であって、
前記製炭ユニットは、
製炭対象物が収容される、上面が開放された第１のトレイと、前記第１のトレイの下に配置され、焚き付け材の収容部である第２のトレイとを含む炉本体と、
前記炉本体の上面を覆う蓋と、
を含み、
前記炉本体の前記第２のトレイの側面に、
前記製炭ユニットの内部と外部とを連通する、開閉可能な第１の炉口と、
前記製炭ユニットの内部と外部とを連通する、開状態では前記通路に連通する開閉可能な第２の炉口と、
が備えられ、
前記蓋に、前記製炭ユニットの内部と外部とを連通する、開閉可能な開口部が備えられ、
前記第１のトレイと前記第２のトレイとの境界部は、少なくとも一部がメッシュで構成されている、
製炭炉。
【請求項７】
前記製炭ユニットは、前記第１のトレイと前記第２のトレイとが一体として構成されている、
請求項６に記載の製炭炉。
【請求項８】
前記製炭ユニットは、前記第１のトレイと前記第２のトレイとが互いに分離可能である、
請求項６に記載の製炭炉。
【請求項９】
前記製炭ユニットは、積み重ねられた複数の前記第１のトレイを含む、
請求項６から請求項８のいずれか１項に記載の製炭炉。
【請求項１０】
請求項６から請求項９のいずれか１項に記載の製炭炉を用いる炭の製造方法であって、
前記第１のトレイに製炭対象物を、前記第２のトレイに焚き付け材を、それぞれ投入する工程と、
前記第１の炉口を通じて、前記第２のトレイに収容された前記焚き付け材に着火する工程と、
前記第１の炉口または前記蓋の前記開口部から吸気させるとともに、前記第２の炉口から排気させながら前記製炭対象物の炭化を進行させる工程と、
を含む、炭の製造方法。